

令和7年1月10日

岡山市教育委員会 様

住所： 岡山市北区津寺130-1

氏名： 角谷賢二

史跡造山古墳、第一、二、三、四、五、六古墳現状変更終了報告

令和5年12月11日付、岡山市教育委員会指令文第1177-1号で許可を受けた史跡造山古墳第一、二、三、四、五、六古墳の現状変更について、令和6年1月28日に事業が終了したので下記のとおり報告します。

記

1. 史跡の名称

史跡 造山古墳、第一、二、三、四、五、六古墳

2. 指定年月日

大正10年 3月 8日

3. 所在地

岡山市北区新庄下986番ほか

4. 所有者の住所、氏名または名称

岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市長 大森雅夫

5. 権原に基づく占有者の氏名又は名称及び住所

なし

6. 管理団体がある場合は、その名称及び事務所の所在地

岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市長 大森雅夫

7. 管理責任者がある場合は、その氏名及び住所

なし

8. 許可申請者の氏名及び住所又は名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地
氏名 所長 角谷賢二
住所 〒701-1346 岡山市北区津寺130-1 国際美術研究所
電話 090-8140-1901
9. 史跡、名勝又は天然記念物の現状変更又は保存に影響を及ぼす行為を必要とする理由
史跡造山古墳の内部構造等を高い物質透過性をもつ宇宙線ミュオンを利用した測定法(ミュオグラフィ)で測定する。この測定は、非破壊で巨大物体を透視できる最先端科学である。そのため、発掘調査等、掘削を伴う方法とは異なり史跡自体に影響を与えることなく墳丘内部の構造等を調査・測定できる。この装置の設置のための現状変更である
10. 現状変更等の内容及び実施の方法
(1) 調査主体：角谷賢二 国際美術研究所所長兼国際ミュオグラフィ研究所所員
〒701-1346 岡山市北区津寺130-1 国際美術研究所
測定方法：史跡造山古墳東側墳丘裾付近にミュオグラフィ装置を設置して測定する。
設置機械：装置の大きさ 165cm×233cm×150cm 装置の重さ 約1トン
設置方法：ボンデ鋼板(2.3mm厚)を敷き遺構等保護の上、その上に装置を設置。
電 源：100V電源を近くの電柱から引き込む。
- (2) 理論および装置の提供協力者
田中宏幸 機構長 教授
東京大学国際ミュオグラフィ連携研究機構
〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1
- (3) 解析の協力者
林武文 教授
関西大学総合情報学部
〒569-1095 大阪府高槻市霊仙人寺2-1-1
11. 現状変更等により生ずる物件の滅失若しくはき損又は景観の変化、影響に関する事項
掘削は行わず、史跡に与える影響はないと考えられる。
12. 現状変更の着手及び終了の時期
着手 令和6年1月1日
終了 令和6年12月28日(装置移動日)
13. 現状変更にかかる地域の地番
岡山市北区新庄下979-1番他
14. 工事施工者の氏名及び住所又は名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地
岡山市北区津寺130-1 国際美術研究所 所長角谷賢二 (現地の事務所の設置は無し)

15. その他参考となるべき事項
無し。

〔添付書類〕

現状変更にかかる地域の写真

1. 設置場所：今回は指令文1177-1号のところ



2. 装置移動前の設置場所の写真



図1 装置移動前の設置場所の写真 2024.12.28に撮影

3. 装置移動後の設置していた場所の写真



図2 装置移動後の設置していた場所の写真 2024.12.28.に撮影
(現状復帰した状態)